

令和元年度 地方創生推進交付金活用事業

地方創生交付金の評価基準（4段階）

- | | |
|-------------------|---|
| ① 地方創生に非常に効果的であった | 例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合 |
| ② 地方創生に相当程度効果があった | 例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合 |
| ③ 地方創生に効果があった | 例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合 |
| ④ 地方創生に対して効果がなかった | 例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合 |



MAIBARA CITY SALES

ビワイチ推進プロジェクト (4/5年目)

総合戦略

横連携

県: 事業連携

地方創生推進交付金 歳入予算: 3,292千円(事業費10,401千円)

- 米原駅サイクルステーションを運営し、県内唯一の新幹線停車駅・米原駅をビワイチの起点として定着を図りました。
- (株)モンベルと連携したジャパンエコトラックルートの継続普及により認知度の向上を図りました。
- 大規模なサイクリングイベントの継続開催によりサイクリングを通じた新しい人の流れを創出しました。
- 市内の休憩拠点の整備やイベントを開催し、満足度を高めるとともに市内滞在時間の延長による地域経済の活性化を図りました。

KPI (滋賀県全体) 【赤字は目標未達成】		2016年度 (事業開始前)	2017年度 (増加分)	2018年度 (増加分)	2019年度 (増加分)	2020年度 (増加分)
ビワイチ推進による日帰り客・ 宿泊客の増	目標 (人)	52,000	19,600	19,600	29,400	22,500
	実績 (人)	-	20,000	20,000	11,000	未定
ビワイチによる日帰り・宿泊客 の増加による経済波及効果	目標 (千円)	614,000	262,000	262,000	393,000	300,600
	実績 (千円)	-	267,200	307,300	147,000	未定

これまでの実施内容

- 新幹線駅直結のサイクルステーションの設置
- ジャパンエコトラック登録
- 市民団体との連携によるサイクリングコース設定
- 宿泊拠点 (グリーンパーク山東コテージ)
- 休憩拠点の整備 (伊吹山インフォメーションセンター)
- 伊吹山ライブカメラの設置
- びわ湖の素・米原グルメライドの開催



令和元年度の取組

◇びわ湖の素・米原グルメライドの開催

9/27開催 参加者407人
米原市内全域に設置されたエイドステーションとチェックポイントを好きなルートで巡るサイクリングイベントを開催。市内事業者や自治会の協力を得るなど、地域のサイクリング普及意識向上にも効果があった。



◇米原駅レンタサイクルステーション

・レンタサイクル貸出数
2,486台 (年間)

資料 2 2ページ

◇ジャパンエコトラックルートの深化

・モンベルフレンドエリア継続登録
・ジャパンエコトラックルートマップ
日本版A4印刷25,000部作成・配布



◇観音寺・「三成book&cafe」の開催

8/3~11/4
来場者数1,044人
石田三成に「逢える」ブックカフェとして関連書籍を集めたイベントを開催。



◇観音寺参道整備 (連携事業)

ふるさと納税基金を活用して観音寺参道を石畳に整備しました。



「スポーツレガシー」を生かしたインバウンド獲得プロジェクト (2年目/3年)

総合戦略

横連携

市単独事業

地方創生推進交付金 歳入予算:947千円(事業費3,205千円)

- 市内のインバウンド受入体制を整えるため、ツアー事業者の設立を支援し、ツアー事業者が自立的な運営を開始しました。
- 上丹生での工芸体験の専用サイトやパンフレットを整備し、受入を開始しました。
- 新たなインバウンド向けコンテンツとして、米原駅からアクセスがよい青岸寺にて夜間ライトアップイベントを開催し、誘客を図りました。
- ラグビーワールドカップ開催を契機に、関西空港内でインバウンド向け観光プロモーションを実施し、本市の認知度の向上を図りました。

KPI (市単独) 【赤字は目標未達成】	(事業開始前)	2018度 (増加分)	2019年度 (増加分)	2020年度 (増加分)
米原駅近隣施設での外国人宿泊 客数	目標 (人) 2,600	100	300	1000
	実績 (人)	885	2,755	未定
外国人向けの特産品、体験プロ ラム・ツアーの造成数	目標 (個) 2	2	3	5
	実績 (個)	2	4	未定
外国人向け体験ツアー・プログラ ムの参加者数	目標 (人) 0	40	60	100
	実績 (人)	0	6	未定

◇伝統工芸を活かした木彫アクセサリ

木彫りの里上丹生の技術を生かしたアクセサリを製造販売。実施団体が自立し、ネット販売やイベント出店を行った。



令和元年度の取組

◇インバウンド向け ツアー事業者設立支援

外国人観光客向けツアー会社の設立、観光コースの開発、観光ガイドの育成を支援。ツアーには14人の申込みがあったが、台風やコロナ禍により参加者は6人となった。

◇木彫の里上丹生での体験メニュー構築

- 多言語対応の専用ウェブサイト「Tonton craft journey」とパンフレット「上丹生町歩きマップ」を作成。アクティビティジャパンにも登録し、おもてなしの体制を整えた。
- クラウドファンディングを実施し、13人56,000円の支援を受けた。
- 本格的な周知が年度末となったこともあり、認知度を高めることができず、実績0人となった。



資料 2

3ページ

◇新たな米原観光事業の創出

- 米原駅からのアクセスが良い青岸寺で11/29～12/15の間、ライトアップやイベントを期間。期間中約700人が来訪。年間では、前年比3倍の9,576人の拝観者数となった。
- クラウドファンディングを実施し、61人608,000円の支援を受けた。



◇関西国際空港でのプロモーション

9/18.19に関西空港内でインバウンド向けプロモーションを実施。13カ国の外国人約450人に対し、直接コミュニケーションをとり、PRを図った。



「戦国・琵琶湖」体感・体験ツーリズム深化プロジェクト

(1/3年目)

総合戦略

横連携

県:事業連携

地方創生推進交付金 2019年度歳入予算:2,036千円(事業費13,169千円)

- 大河ドラマ放映を機会に県内全体で戦国をテーマとしたプロモーションや滞在型観光の充実を図ります。
- 市のローカルフードである在来種伊吹そばについて、市外来訪者が参加するイベント時にPRし、認知の向上を図りました。
- 4年ぶりとなる戦国ロケット流星の打上げを支援し、伝統行事の保全と市内外からの誘客を図りました。
- 6年ぶりの3基そろい踏みとなる曳山祭の開催を支援し、伝統文化を活用し足し内外からの誘客を図りました。

KPI (滋賀県全体)		(事業開始前)	2019年度 (増加分)	2020年度 (増加分)	2021年度 (増加分)
戦国にまつわる観光 施設の観光入込客数	目標 (万人)	171	2.03	2.30	1.20
	実績 (万人)		未定	未定	未定
観光消費額	目標 (億円)	1,793	77	41	46
	実績 (億円)		未定	未定	未定
延べ観光入込客数	目標 (万人)	387	23	15	15
	実績 (万人)		未定	未定	未定

令和元年度の取組

◇在来種伊吹そばのPR

びわ湖の素・グルメライド開催時に伊吹そばのPRと実施し、認知度の向上を図った。



◇戦国ロケット流星の打上げ

関ヶ原の戦いの際に西軍の石田三成が使ったのろしが、その起源といわれる「流星」。実施団体を支援し、2019年10月27日に打上げを実施。約300人が観覧。ふるさと納税を活用したクラウドファンディングを実施し、19人1,006,000円の支援を受けた。



◇米原曳山祭りの開催支援

6年ぶりの全3基そろい踏みによる曳山祭の開催を支援した。
開催日: 10/12~14



◇まいばら乗りノリフェス【連携事業】

米原曳山祭の開催中の2019年10月13日に米原駅東口にて開催。米原市観光協会と米原市商工会青年部が共催で実施し、乗り物の町としてPRした。イベントから曳山祭見学へ向かう人もあり相乗効果を得ることができた。

